

# 可燃ごみ

最近、カラス等による可燃ごみを荒らす被害が増加しています。カラス等は、臭いではなく視覚でエサを探すので、これらのことに一人ひとりが配慮し、可燃ごみの散乱防止に努めてください。



環境  
だより



問合せ先  
環境経済課 ☎ 95-1613

## 可燃ごみの出し方

- 可燃ごみ袋は、なるべく交差点を避け、収集経路の進行方向にご近所で固めて出すようにしてください。(交通量の多い交差点は、収集車が他の車両の通行の妨げをしてしまうため)
- 現在1世帯で可燃ごみを出されている場合、収集時間の効率化のため、ご近所で固めて出すようご協力をお願いします。
- ごみ袋は、必ず大口町指定のごみ袋を使用してください。また、空き缶やビン、金属類、乾電池などの危険物は、絶対に入れないで下さい。これらが含まれている可燃ごみ袋は収集できません。
- 野良ねこなどに荒らされる被害があるため、必ず決められた曜日の朝に出してください。



## 可燃ごみの減量

- ごみは、必ず分別をしましょう。容器包装プラスチック、缶、びん、ペットボトルや新聞、雑誌、ざつがみなどは資源ごみとして決められた種類ごとに分別をすれば再利用をすることが可能になり、可燃ごみの減量にも繋がります。
- 買い物に出かけるときはマイバックを持ち、本当に必要なものかよく考え、上手な買い物をしましょう。シャンプーや洗剤などは、詰め替え商品を利用し、無駄な容器を減らしましょう。
- 料理は、食べ残しが出ないようにしましょう。台所から出る生ごみは、水分を多く含んでおり、特に夏場において、悪臭の発生原因ともなりますのでしっかりと水を切ってから捨てるよう心掛けましょう。



## カラス対策

- カラスのエサとなる残飯を減らしましょう。
- 外から生ごみが見えないよう、資源に再利用できないざつがみなどで包んでごみ袋に入れましょう。
- 可燃ごみ袋は、必ずカラス除けネットに入れ、周りに重りを置くか、ネットで包み込むようにし、カラスがごみ袋を引きずり出せないように入れましょう。集積場所にスペースなどがある場合、かごなどを使用しましょう。



▲かごなどを使用し、ネットをかぶせる



▲ネットの周りに重りを置く

可燃ごみ収集後は、かごを撤去し、スペースを空けましょう。